

Ⅱ. 組織基盤の強化

(1) 効果的な広報・PR活動の実施

会員と本会議所をつなぐ機関紙「大商ニュース」や、本会議所事業を紹介した「大商便利帖」、ホームページ、大商メールステーション、フェイスブック等により、本会議所事業の広報・PRを精力的に行う。加えて、「たんと繁盛 大阪アクション」を推進する連続シンポジウムを新聞社と共催するとともに、本会議所の活動が一層マスメディアに取り上げられるよう、報道関係者への広報活動に注力する。

(2) 3万会員の維持に向けた会員満足度向上運動の展開

安定的な3万会員を維持するため、新規会員勧誘活動や、会員継続促進活動を展開する。新入会員・若葉（入会后3～6年度目）会員を対象に部会や支部においておもてなし事業を実施し、退会の抑止に傾注しながら、本会議所事業の価値の共有と会員満足度の向上により、本会議所のファンを拡大する。また、事務局の会員増強力の向上や、会員満足度向上につながる事業の開発・改善に取り組むとともに、事業広報の拡充を通して、事業利用拡大に努める。